

# みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動 推進協議会だより(平成28年4月号)

〔第2次ステージ運動スローガン〕

**高めよう安全意識 加速させよう復旧・復興 達成しようゼロ災害**

## 建設業の死亡災害の増加を踏まえた緊急要請を行いました

宮城労働局では、本年に入り建設業で死亡災害が増加したことから、4月11日付けで公共工事発注機関を含めた建設業関係団体26団体に対し以下の緊急要請を行いました。

特に、建設機械、クレーン、ダンプトラック等による作業には、ご留意をお願いいたします。

### 「取組事項」(抜粋)

#### (1)安全衛生教育の実施

各作業について、再度、予想される危険性について見直しを行ない、リスクアセスメント等により作業に伴うリスクを確認した上で、安全衛生教育等により作業者の安全衛生に対する意識の向上を図ること。

#### (2)三大災害の防止

死亡災害に直結する三大災害防止(墜落・転落災害、重機・クレーン災害、崩壊・倒壊災害)の徹底を図ること。特に、本年は、車両系建設機械、ダンプトラックによる死亡災害が発生しているため、運転席を離れる場合や道路上で作業する場合の安全対策について徹底を図ること。

#### (3)工事別の重点取組事項(災害に占める割合が高い事故の型)

・「土木工事」では、

- ①はさまれ・巻き込まれ・・・(重機に轢かれ、ドラグショベルに挟まれる等)
- ②激突され・・・(重機に激突される等)
- ③交通事故(道路)・・・(凍結によるスリップ等)
- ④飛来落下・・・(敷鉄板の落下等)

・「鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業」では、

- ①激突・・・(立馬、重機から飛び降りる等)
- ②激突され・・・(クレーンの外れたワイヤーが当たった等)
- ③墜落、転落・・・(はしご、脚立から墜落等)

・「木建工事」では、

- ①墜落、転落・・・(足場との間、屋根、2階開口部からの墜落等)
- ②転倒・・・(根太で足を滑らせ転倒等)
- ③飛来、落下・・・(ワイヤーがはねて目にささった等)
- ④切れこすれ・・・(鉄筋、木工加工機械による切れ等)

## 建設業工事の無災害表彰の推移 ※対象は、工事の労災保険料が160万円以上の規模の工事としています。

無災害表彰は、一定規模以上※の工事現場で、全工期を通じて、休業を伴う業務上の災害を生じさせなかった工事について、厚生労働省労働基準局長が表彰するものです。

宮城県内では、平成23年以降27年末までで193件の表彰実績があり、うち復旧・復興工事は69.9%にあたる135件となっています。(平成28年は4/25現在21件(うち復旧・復興工事12件))

年	23	24	25	26	27	28(4/25)
表彰数	7	5	27	66	88	21
うち復旧・復興工事	1	1	18	45	70	12

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会  
(事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課)

# 平成28年度全国安全週間スローガン（決定） 見えますか？ あなたのまわりの 見えない危険 みんなで見つける 安全管理

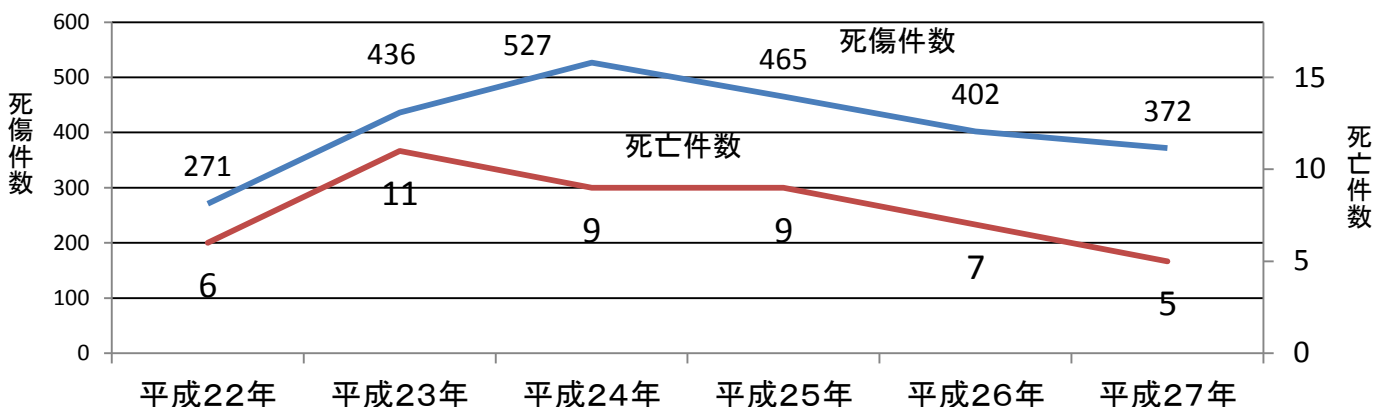
## 平成27年建設業の労働災害件数が確定しました

平成27年の建設業の死傷件数（休業4日以上）は、372人と平成26年に比較し、-7.5%（-30人）と減少し3年連続で減少しました。また、死亡災害は5人と平成26年の7人に比較し2人の減少となりました。現在も、みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動を継続中であり、労働災害防止に取り組まれたの方々のご尽力に感謝申し上げます。

### 1. 建設業死傷災害及び死亡災害の動向（H22年～H27年確定値）

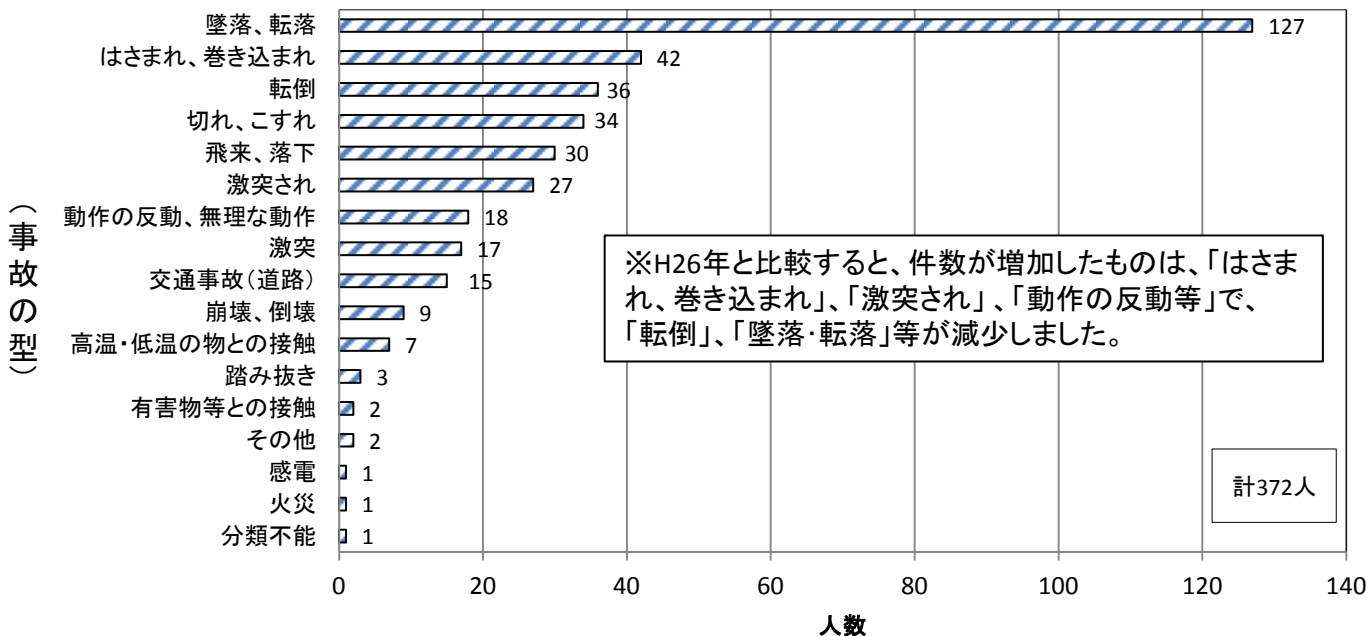
宮城労働局

発生月	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
死傷災害	271	436	527	465	402	372
死亡災害	6	11	9	9	7	5



### 2. 災害の原因別（平成27年確定）

※詳細については、宮城労働局HPを参照願います。



みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会  
（事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課）